

イーヴォ・ポゴレリッチ ピアノ・リサイタル

# IWO

# POGORELICH

Piano  
Recital

2024年1/27(土)19時  
サントリーホール

Saturday, January 27, 2024 at 7 p.m.  
Suntory Hall, Tokyo

料金 S¥15,000 A¥12,000 B¥8,000

主催: KAJIMOTO

協力: 株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ

ショパン: 前奏曲 嬰八短調 op. 45  
Chopin: Prelude in C-sharp minor op. 45

シューマン: 交響的練習曲 op. 13 (遺作変奏付き)  
Schumann: Symphonic Etudes op. 13 (including op. posth.)

シベリウス: 悲しきワルツ op. 44  
Sibelius: Valse triste op. 44

シューベルト: 楽興の時 D780 op. 94  
Schubert: Moments Musicaux D780, op. 94



# 巨人的ヴィルトゥオーゾの光とロマン

長いトンネルを抜け、巨人は光に包まれていた。

現在のイーヴォ・ポゴレリッチはそういった感じだろうか。かつて1980年のショパン国際コンクール(のスキヤンダル)を機に、まったく独自の感覚とスタイルをもったピアノの鬼才は世に出、そしてスター街道を轟進したものの、大きな悲劇のために彼はまるで煉獄のような世界を彷徨った。そして、持っている力が全てにおいて類稀なる破格なものだったために、そのピアノは長きにわたって聴き手の心を違った意味で揺るがし、そして戸惑わせることとなった。

しかしポゴレリッチは還ってきた。音楽作品をいったん解体し、独自の感覚と洞察で再構築するスタイル(そしてステージ上の儀式的な数々の行動)はそのままで、そこにはかつての“悪魔的”な闇よりも、“幸福感”というそれまでのポゴレリッチには似つかわしくない?言葉を使いたくなるような光が加わっていた。そして人の心の奥底にある、真正なロマンティズムといったようなものが漂うようになった。

さて今回のプログラムの中で注目したいのはシューマンとシューベルト。

シューマン「交響的練習曲」はポゴレリッチが何度も日本で弾いてきた曲だが、柔よりも剛、強大なフォルティシモと神秘的なピアノシモの中に噴き出す巨大な情熱と幻想味がいつも印象的だった。そして前回これを弾いたとき(2018年の還暦記念ツアー)に驚かされたのは、5つの遺作変奏を冒頭のテーマの前に弾くという離れワザ。さて今回はいかに?(まさかフィナーレの後にとめて、などということは・・・)

そしてシューベルトの「楽興の時」。これは2023年1月の浜離宮朝日ホールで披露し、ポゴレリッチの日本での初シューベルトとなった。魂の深淵を見たポゴレリッチにとって、シューベルトの音楽ほど時宜になかったものはあるまい。実際、冬の夜空を見上げるような澄み切った音が聴かれたとの評判だったが、今度のサントリーホールでの演奏も楽しみにしたい。

(A)

## イーヴォ・ポゴレリッチ(ピアノ) Ivo Pogorelich, piano

1958年ベオグラード生まれ。数々の国際コンクールでの優勝に続き、1980年のショパン国際コンクールでの落選とそれに抗議して帰国した審査員のひとり、アルゲリッチの「だって彼は天才よ!」という言葉によってポゴレリッチは一躍脚光を呼び、たちまち世界的に名を知られることになった。

1981年のカーネギーホールでのデビュー以来、世界中で活躍、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、パリ管、シカゴ響、ポストン響などと共演を重ねている。

教育にも熱心でクロアチアには財団を、ドイツのパート・ヴェリスホーフェンではポゴレリッチ音楽祭を設立し、若い音楽家たちに多くの演奏機会を与えている。また赤十字やサラエヴォ再建、癌や硬化症と闘う人のためにも多くのチャリティ・コンサートを行っている。1988年にはユネスコから親善大使に任命された。

1982年、ドイツ・グラモフォンから録音デビュー。数多くのCDはいずれも人気を博した。1995年以来録音が途絶えたが、2019年にソニーと契約、ラフマニノフ&ベートーヴェン、そして2022年2月にはオール・ショパン・アルバムが発売。

数年間の療養を経て2005年に6年ぶりの来日を果たして以来、定期的に来日。いつも論争を起こす中、彼の演奏には型破りな内にも統一された秩序があり、復活を果たしたことを聴衆に年々印象付けている。



## I V O P O G O R E L I C H

### イーヴォ・ポゴレリッチ ソニー・クラシカルより絶賛発売中

BSCD2 HiRes AUDIO 96kHz/24bit ハイレゾ配信



ピアノ界の異才、21年ぶりの録音。

#### ラフマニノフ: ピアノ・ソナタ第2番 & ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第22・24番

[録音] 2016年9月 ドイツ、エルマウ城(ベートーヴェン)  
2018年6月 オーストリア、ライディング、  
リスト・ホール(ラフマニノフ)

定価 ¥2,860(税抜価格 ¥2,600)  
CD ● SICC 30512



四半世紀を経て原点のショパンへと回帰。

#### ショパン: ピアノ・ソナタ第3番、 夜想曲&幻想曲

[録音] 2021年9月2-10日 オーストリア、ライディング、  
フランツ・リスト・コンサート・ホール

定価 ¥2,860(税抜価格 ¥2,600)  
CD ● SICC 30593

Sony Music Japan  
International

## チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)  
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

“kajimotomusic”で検索! @kajimoto\_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp>(Pコード: 252-447)  
e+(イープラス) <https://eplus.jp/>  
CNプレイガイド [www.cnplayguide.com](http://www.cnplayguide.com)  
ローソンチケット <https://l-tike.com/>  
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017  
(オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)

カジモト・  
イープラス



一般発売:  
10/14(土) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 10/5(木) 12:00~10/8(日) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- ご来場の皆様安心して聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。